



横浜市立富岡小学校

# 学校だより10月号



## 令和5年度の振り返り地点 ～後期が始まります～

校長 浅野 修一

令和5年度もこの10月6日で前期が終わります。今年度は富岡小学校創立150周年記念の年。多くのまちの皆様、保護者の皆様に支えられ、子どもたちがすくすくと伸びていく富岡小学校のすばらしさを改めて実感しております。心から御礼申し上げます

9月27日(水)の1、2校時、5年生は体育館で「子ども会議」を実施しました。道徳の時間を使い「それぞれの立場で考えてみよう～よりよい関係づくり～」という題材で、5年生3学級が一堂に会してグループごとに話し合いを行いました。1グループに3学級の子もたちが入り、普段顔を合わせる事が少ない仲間たちと、少し緊張しながらの活動となりました。日常の中で起こりうる出来事をもとに、それぞれの立場でどうすればみんな楽しく過ごせるかについて、自分の考えを述べたりみんなの考えを聞いたりすることができました。真剣にそして和やかに話し合いを進めている姿を見て、さすが富岡小学校の5年生だなと感心しながら参観いたしました。



富岡小学校では、「互いを認め合い 誰もが安心して生活できる 子ども社会をつくろう」という意識を育むことを目標に、学年の発達段階に応じてこのような「子ども会議」を全学年で実施しています。みんなが楽しく過ごすために周りの友達の気持ちを考えることが大切ということはよく聞きますが、それと同様に、自分の気持ちも大切にしてほしいと思っています。お互いの思いや考えを出し合いながら、自分も相手も納得できる結論を導こうとする姿勢が身につくといいですね。

さて、前期もあと1週間ほどで終了します。6日(金)には前期終業式を行い、あゆみが手渡されます。あゆみには前期にがんばったことや後期にがんばってほしいことなど、お子様一人ひとりに対する担任の思いが書かれています。ご家庭でもお子様とご一緒にご覧いただき、前期の振り返りをするともに後期に向けてのアドバイスをお願いできればと存じます。

また、夏休み明けの時期をとらえて、生活目標でもある「あいさつ」について指導しました。学校で共に過ごす友達同士のあいさつはもちろん、登校時などに子ども達の安全を見守ってくださる保護者、地域の方々にも元気にあいさつすることで、お互いに気持ちのよい一日になるという体験をたくさん積み重ねていってほしいと思っています。「成功体験」したことは自然と身につくものです。あいさつの声があふれる富岡小学校になることを期待しています。

次第に秋のさわやかな風を感じる日も出てきましたが、まだまだ暑い日が続いています。また新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症の流行も収まっていません。お子様の体調維持につきまして、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。